

6/20

民主的改革勝利！ 立法粉碎 中教審答申 本日全市大統一行動！起

各クラス、セミ、サークルからの文衆的決起を呼びかける

昨日、実行Cにおいて、メキC、破廉恥、
 〇、まを暴露する

6/20実行C準備会から、一昨日の結成大会まで一貫してなりをひそめていた文ヨ
 C諸君は、昨日の実行Cにおいて破廉恥、その無能を暴露した。それは、我々
 改革斗争の先日の6/14教授会連合による示もに戦斗的、批判的に参加した二
 人に、批判にあらぬ批判を行つて至つて露呈した。教授会に対する見解を我々
 は尋ねた際、返つて来た答へは「何んと教授会とは観念である」という驚くべき
 ものである。つまり彼等は自ら作り出した観念を「解体」すべく連日連夜「斗
 つているのである。しかしながら我々改革斗争には、たとえ彼らが無言のうちに
 したとしても言つて、彼ら我々の斗争に参加することを二はまはないだろう。
 何故なら、その二は無言のうちに運動の過程の中でこそ克服されるからである。

本日の斗いは、本日を自度にして凶会を覆にかけられようとしている大学
 市大の民主的改革に前進せよ。

本日の斗いは、本日を自度にして凶会を覆にかけられようとしている大学
 臨時措置委員に明確に反対し粉砕する斗いとして意欲的である。それ
 と同時に、二の斗いを単に大学立法粉砕斗争の街頭カンパニアに留めさせては
 ならないことは自由である。それは実行C後のパンフにも
 書かれてある如く、二の力を市大の改革斗争に用いなければは
 ならない。ななる斗争に対し、単に全大をいけるという理由
 をもって、本日の斗いに何ら取り組むことなく、遂に妨害
 行動に出ている屋敷君を断然糾弾する。

彼らは、二の斗いをとり組む我々を、全大を包囲するも
 のとして「批判」している。それに対し我々は次の如く答
 へよう。封鎖糾弾を一回一回唱えたところを、少し
 も封鎖を糾弾する二にはならない。全大ヨナンセンヌ
 と何度くり返したところを全大ヨナンセンヌは学友諸君にとって、
 ナンセンヌとはならない。

我々は具体的な運動の中で大衆的力を背景として彼らを粉
 砕してゆくだろう。
 全市大の学友諸君！！
 ななる斗争の意義を踏まえ、本日の斗いに大衆的決起を
 つまねよう。

- スケジュール
- 30 学内総決起集会
工学部階教室
- 3時半 出発
- 50 中の島集合
剣崎公園
- 6時半 御堂筋下で出発

全学改革斗争委

6/20